

株式会社FuturedMe

会社概要

所在地 本社:103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
研究室①277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-6東葛テクノプラザ 501号室
研究室②277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-19東大柏ベンチャープラザ 202号室
連絡先 090-6714-1950
URL <https://futuredme.com/jp/>
資本金 100百万円 設立 2018年6月
事業内容 医薬品の研究、開発、製造、販売など

東大柏ベンチャープラザにおける事業概要

未来の個別化医療(ゲノム医療)に貢献するために、代表者が東京理科大学で発明した革新的な分解創薬技術CANDDYを活用し、これまで薬のなかったアンドラッグブルターゲットに自社創薬を展開し、CANDDYの強い知財を用いて、製薬企業などの抱える創薬に関する問題を解決するために、CANDDYプラットフォームによる、ライセンスアグリーメントや共同研究マイルストーン契約などを展開していく。自社創薬では、がんセンターと隣接した環境を活用して、積極的に創薬を推進していく。

FuturedMeとは、未来(Future)の薬(drug=degrader)を一人ひとりに(Me)という意味。未来医療(プレジジョンメディシン)において、個と多様な人々の病気を予防及び治療するために、創薬のゲームチェンジャーである新しい技術CANDDYで、病気の原因であるタンパク質(標的)を化合物で分解し(ケミカルノックダウン)、病気を治療する。

No patients without medicine. 薬がなくて、治療をあきらめる患者さんがいない未来を目指す。

コア技術

CANDDY技術は、日本発のオリジナル技術であり、これまでの薬の創り方を根底から変える。タンパク質の機能を「阻害」するために、タンパク質にポケット構造が必要で創薬は困難であったが、タンパク質を「分解」する場合必ずしもそのような構造がいらなくなり

原理的に100%の標的に薬(分解薬)が
つくれる可能性がある(ターゲットーム創薬)。

CANDDYは、ユビキチン化に依存する分解技術の問題点を解決した次世代型の分解技術であり、化合物で標的を直接、生体分解装置(プロテアソーム)に誘導分解するため、より単純で汎用的な技術である。

CANDDY技術：薬創りのアプローチを変える



25%の標的にしか薬が創れない ❌ ➡ 100%の標的に薬が創れる夢の万能技術 Ⓞ

事業展開

FuturedMeは、2つのビジネスモデルを持つ。一つは、自社創薬事業で、インハウスでアンドラッグブルターゲットのファーストイン創薬を目指している。早期のファーストインヒューマン実現のために、隣接するがんセンターと連携していくことを目指している。もう一つは、プラットフォーム事業で、未来医療のために、さまざまな標的に対して薬を揃えていくことが可能な「CANDDYターゲットーム分解創薬プラットフォーム」を戦略的に創り上げ、世界中の企業やアカデミアと協力して、薬づくりを推進して行く体制を目指していく。

CANDDYターゲットーム分解創薬プラットフォーム

